



図書館便り

八頭高図書館

2015年3月17日発行

暖かな春がようやくやってきました。春休みの読書の準備はできましたか？

【今年度 年間貸出冊数上位ベスト5】 (3年生は除く)

最多読クラス	2年7組	685冊
多読クラス	2年3組	432冊
多読クラス	2年6組	382冊
多読クラス	2年5組	361冊
準多読クラス	1年2組	317冊



【春休み特別貸出】

20冊 4月10日まで
借りられます！！
待ちに待った春休み
読んじゃお！読んじゃお！！

【格言紹介】

為せば成る 為さねば成らぬ何事も

上杉鷹山

あなたの座右の銘をもとう！！

夢・希望を叶えるために・・・ 3年 橋本夏帆

私は、経済学部地域社会システム学科を推薦で受験しました。図書館へは1,2年の時に行く機会がほとんどなかったのですが、3年の初めごろから希望する学科に関係のある経済や観光について知りたいと思うようになりました。特に経済について池上彰さんの本で『日銀を知れば経済がわかる』という本を読んで、日本経済の状況やしきみについて理解することができました。分かりやすく書いてあるのでとてもおススメな本です。他にも私は地方の経済や観光に関連する本を司書さんに親身になって相談に乗っていただいていたたくさんの本と出会うことができました。これらは小論文や面接にとっても役立ちました。

この推薦で合格ができたのは先生方、司書さん、たくさんの方々のアドバイスや指導があつてこそできたことです。本当に感謝をしています。

みなさん気軽に図書館に立ち寄って、先生に相談したり、日頃から少しずつ自分の関心のあるジャンルの本を読んだりしてみてください。

3年の初め頃から目標を決め、余裕のあるうちから少しずつでもスタートしていくといいと思います。自分の志望する学部の本を中心としながらも、幅広く読んでいくとどんな設問であつても慌てることなく対応できると思います。

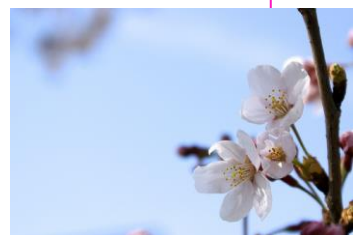
【受験で参考にした図書の一部】

『日銀を知れば経済がわかる』 池上彰/著 平凡社 ※小論文担当指導教員推薦

『地域再生』 香坂玲/著 岩波書店

『観光まちづくり』 西村幸夫/編著

『目からウロコの社会系小論文』 樋口裕一/著



小論文では、自分の考えを相手にわかりやすく説明することが求められます。自分はこのような理由でこう考えている、という事を示さねばなりません。自分の考えを持つため、まずは自分の目指す分野では、今の社会の中でどんなことが問題になっているのか、解決のためには今、どんな取り組み方や考え方があるのか、そういった自分の考えを作る材料を集めましょう。そんな時に、図書館にそのための分野ごとの資料を揃えてあります。気軽に相談してください。

【切り開け！進路！！・・・八頭高教職員 応援団】

田賀先生/文